

1. 日時

2020年5月13日（水） 18:30～20:30

2. 場所

Zoom（Web会議システム）

3. 出席者

（敬称略順不同）

近藤史人、中村康司、川島由久、大橋知子、河村信彦、鈴木聡（記）以上6名

4. 議題

- （1） ユースケースから抽出したステークホルダーよりコンフリクトを特定
- （2） 鈴木からの相談事項

5. 議事

- （1） ユースケースから抽出したステークホルダーよりコンフリクトを特定

前回近藤さんがワーケーションのユースケース、鈴木が女子大生島内観光のユースケース、グリーンツーリズムのユースケース、ジブリ・シー・パークのユースケースを作成し、そこからステークホルダーを抽出することになった。

今回は近藤さんがワーケーションを前提としたステークホルダーをマトリクスに纏め、鈴木はひとまず女子大生島内観光ケースのステークホルダーをマトリクスに纏めたので、一旦それぞれの成果物について説明。

それぞれ観点が異なり、ワーケーションのケースでは、ステークホルダーを「推進者」「利用者」「提供者」に分類し、それぞれの立場での要件を纏めている。女子大生のケースでは利用者と提供者の間で、エコシステムを成立させるデータの扱いに焦点を当てた纏め方をしている。

尚、ワーケーションのケースでは、利用者を、一見さん、リピータ、アドボケータの三つに分類し、交通機関の所要時間に焦点を当て、所要時間短縮とワーケーション利用者増加の関係をシステムダイナミクスモデルに纏めていただいた。

近藤さんのステークホルダーマトリクスからもわかるように、今回は「利用者」をターゲットとしたビジネスのエコシステムを「提供者」が形成できるよう、「推進者」が仕掛ける形になっていて、「提供者」のBA活動を支援する「推進者」のBA活動を、BAOが支援するという、複雑なモデルになっている。

まずは2019年度の研究活動で纏めた、[「ビジネスデザインの詳細」](#)にあるように、ステークホルダー分析をデザイン思考で進め、ニーズ分析とシーズ分析のスパイラルアップによる価値の追求を行い、システム思考でシステムダイナミクスモデルを作成し、ビジネスドライバーを見つける。という進め方をしてはどうか。

また、今回のモデルケースは、一つの所管部署だけでもステークホルダーの階層が複雑であるため、ある程度範囲を絞って、スモールスタートしてはどうか。

ということで、次回までに、ひとまず経済産業局所管のワーケーションモデルを前提とし、一見客、リピータ、アドボケータなどを想定した、マトリクスを、各自纏めてもらうこととする。

## (2) 鈴木からの相談事項

議題として提示を失念しました。また次回相談します。

## 6. 次回予定

### (1) 日程

第91回            2020年 6月10日(水) 18:30 ~ 20:30

### (2) 場所

Zoom (Web会議システム)

### (3) 議事予定

各自作成した、ステークホルダーのマトリクスを元に、ニーズ分析、シーズ分析を進める

## 7. 成果物

近藤成果物

[StakeholderMap.xlsx](#)

[佐久島MaaSプロジェクト.sip](#)

鈴木成果物

[ステークホルダー\\_ユースケース1.xlsx](#)

## 8. その他

中村さんから書籍の紹介がありました、是非書評を。

[https://www.amazon.co.jp/s?k=%E4%B8%AD%E6%9D%91%E5%BA%B7%E5%8F%B8&\\_\\_mk\\_ja\\_JP=%E3%82%AB%E3%82%BF%E3%82%AB%E3%83%8A&ref=nb\\_sb\\_noss\\_1](https://www.amazon.co.jp/s?k=%E4%B8%AD%E6%9D%91%E5%BA%B7%E5%8F%B8&__mk_ja_JP=%E3%82%AB%E3%82%BF%E3%82%AB%E3%83%8A&ref=nb_sb_noss_1)

—以上—